



夕刊
高久病院
院長 高久忠
平町町電五三一

諏訪湖畔

小山田 滋

○芋の葉の露もゆるればさななわが夢とな
るよるさこの道
○朝風や秋さく垣をあらちこに城へ小路のつづ
く街々
○網ひきて扇に蜘蛛のいとまみの古りにし家に
かへりきりけり
○木樨咲くみづみ沿ひの製糸町ひつそりとし
て盆休みなり
○焚きすてし芋程にしめる朝露の昨日となりし
露まつりなり
○女郎花尾花葛花新雨の車もまじり山の手の
町
○水鳥の羽色よ白きさ波よ秋たつはやき湖の
べの町
○湖明り小路を横に雨車ちららゆきて暮るる
町なり
○若の葉にすいすいあがる遠花火湖をかかへて
涼しき宿屋
○身にしみて秋ぞと思ふ山栴檀露むらさきの道
をゆきつ
○唐黍の穂にもつれゆく庭風呂の煙もしたし山
の宿りに
○瓜きざむ涼しき音は庭竹のそよぎの中にまじ
りざりけり

不可解の笑

荷 香 生

鏡臺の隣に手延べて
掴みやうとあせる
幼児
驚異の顔は輝く
彼は幼児で幼児でなかつ
た
しばし鏡臺を見つめた
彼はそつと鏡後をのぞく
空……
小さな頭の混濁だ
尊い生の芽だ
真理を究めんとする
小きき學者だ
監視の眼は笑つた
幼児は親の顔を讀んだ
あどけない初笑の
一時時を最後に
幼児の仕事は變化した
尊い時、尊い場面
かうして消滅するのだつ
た
惜し哉……空
それにかんだ幼児の心
理
これ程の崇高なものはあ
らうか
生んだ親の態度
笑ひ……
冷笑！罵笑？
笑ふ親果してその真理を
い秋波ですつかりかき乱し
て仕ふ。時中——居眠り
の襲つて来るのをまぎらす
手にしてゐた紙片で口を君
の氣分がみなつてゐるの
だ。後から二番目に並んだ
Y組のスター、御茶目で奇
抜でそれでて仲々詩人肌
の二人。伊久子と茂子が
引寄せた。

剣火無情

津屋義人作
菅野祐作書

軍卒等は戦死者弔問の情
を以て泣きわたりてゐた。
茂子は遂にたまりかねて
手にしてゐた紙片で口を君
の氣分がみなつてゐるの
だ。後から二番目に並んだ
Y組のスター、御茶目で奇
抜でそれでて仲々詩人肌
の二人。伊久子と茂子が
引寄せた。



それは愚僧の望む所じや
佛の冥福を祈らぬが爲、鐵
砲玉に中つて佛と成つたら
んでも可いわい、アレは水
僧侶として以上の名譽は
戸市川の奸黨に屬する奴等
ごさうな、何うか構はずに
置いて貰ひたい、其代り願
ふ事ではないが貴公等が戰
死されたら愚僧が感激に引
導は渡して進ませるわい、ウ
ワッハ、ハ、ハ、ハ、ハ、
「隊でもない事言ふな」
「イヤ腹立てまじぞや、主
君の爲の戦死は之れ武士た
りだ、して和尚は何處の寺
の者の本分……なア皆の衆
の住職かな」
「三界無住、三衣一鉢。寺
を極めておかうかな」
「ア、お前方、勤王といふ
とスガ攘夷といふな、俺や
それが厭だ。井伊掃部頭
した所が面白いと思ふ」
和尚は斯う言つて澄まし
た
水戸藩は多く井伊掃部頭
に大反対であつた

金融

低利立替
軍人官吏其ノ他一
般(逡巡)モ速力ニ
御用立致シマス。
御希望の方は表記へ御
奉答を乞ふ。
平町六丁目百〇番番
鈴木龜雄

加之「櫻出車」には水
藩から首領の佐野竹之助を
始め多くの兇行者を出して
ゐる。
世の一般が
「井伊中將の首を打つたは
水戸の藩士である」と一口
に斯う言はれる程であるが
ら、和尚の一言は一同の激
昂する所となつた

「勅命に背いて境に異國と
條約を結んだは、天人共に
容れざる井伊掃部頭の罪で
死せよ、だが其罪たるや先見
の明あり、適れ世を知つ
ての考へ、可いか各々方能
く胸に手を置いて考へて見
よ」

ラチオ体操

第一校で脚行勤務
平第一校では愈々来月一日
から同校第三校庭でラヂ
オの會を催すので仙臺放送
局からのポスター、勸誘チ
ラシ、ラヂオ体操圖解約六
千枚を各方面に配布多数参
加を希望して居る

第二健康調査。平第二校
では夏季中の貧兒に細心の
注意を拂ふべく一昨廿五日
全校兒童の体重不足者を調
査した處五十九名の多きに
達した

第一校児童會。平第一校
では廿六日午前十時から
縣下行脚の福島高商生徒戸
澤綱夫氏(伊達出身)を招い
て児童會を催した

土に親しむ。新しく
塾中作業科。正科へ
編入された塾中作業科では
塾中休暇中生徒の園藝當番
(子)

平町慶弔録
▲死
四丁目一美城東東城郡大坂町一
七七鈴木(二)

Advertisement for 'ラチオ体操' (Radio Exercises) with details about classes and dates.

Advertisement for '優等白馬' (Superior White Horse) wine, including a list of participating shops and contact information.

Advertisement for '福島縣實業滿鮮視察團' (Fukushima Prefecture Manchuria and Korea Inspection Team), listing members and dates.

Advertisement for '鈴木醫院' (Suzuki Hospital), listing various medical services and the hospital's location.

Advertisement for '増田耳鼻科醫院' (Masuda Otorhinolaryngology Hospital), listing services and contact information.

Advertisement for '西村屋藥局' (Nishimura Pharmacy), listing various medicines and services.

Advertisement for '鈴木醫院' (Suzuki Hospital) and '増田耳鼻科醫院' (Masuda Otorhinolaryngology Hospital), detailing medical services and contact information.

Advertisement for '西村屋藥局' (Nishimura Pharmacy), listing various medicines and services.

拈華微笑
一點の涙。平驛
炎暑氣再來催て
勝敗は第二だ。
吾人は男性的な
尺ゴは伸びんが
迎へんのみ
為に屈する。盛
岡の捲土重来を
迎へる者迎へら
ぬ者共に眠底
と聞いては頭ごなしに叱つ
て追返す勇氣もなかつた
それは自分等もいつ何時
一發の弾丸に命を落すか不
意の一聲に生命を奪はるゝ
か知れぬ身だからである
「殊勝な申分であるが昔の
合戦とは違つて弓矢のみで
はない、鐵砲、大砲の玉の
飛び來たる中であるに依つ
て危険な繩張りへ入らぬが
可からう。折角死人の冥福
を祈らうとして自分が佛に
成らぬやうに致せ」
「コレ！今海中に討死し
論ず積りでいふのだが大
角和尚却てウンとは言はな
い」
武田方の軍卒は手を振つ
た

或女學校風景
茶 目 子 記
窓越しに見える青空も身
らしく輝いて庭一面に滲
り込んでゐる。
うつとしたりした夏の趣目
の前の夏休みを控へてゐる
が毎日、どの女學生も、
も、その、勉強にあきて四年
生は、この季節、
地へ飛び出さうと、七月を
心待ちにしてゐる

好轉の一途を直進し 炭況回復は既定の事實

必然的な十一月以降の品不足に 各社夫々増産計画を樹つ

各方面の需要増大に備ふる入山採炭理事太田文雄の諸願の會を開き、炭況回復の必要を説き、十一月以降の品不足に備ふる各社夫々増産計画を樹つて、炭況回復は既定の事實となることを期す。炭況回復の必要を説き、十一月以降の品不足に備ふる各社夫々増産計画を樹つて、炭況回復は既定の事實となることを期す。

磐中軍の優勢に 刻々快情報は飛ぶ

平局の通話数依然増加

シリングゲーム組の昨廿五夜、磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

來大會には確信ある

多田コーチ頭頭語る

來大會には確信ある。多田コーチ頭頭語る。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

松葉杖の正木校長 選手一行を送る

今朝平驛頭の感激的情景

松葉杖の正木校長、選手一行を送る。今朝平驛頭の感激的情景。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

競泳大會準備

磐中の代表二選手

競泳大會準備。磐中の代表二選手。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

櫻ヶ丘に咲き出た スポーツの名花

愈々迫つた縣下大會に 磐中柔剣選手二重奏

櫻ヶ丘に咲き出たスポーツの名花。愈々迫つた縣下大會に磐中柔剣選手二重奏。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

杉浦選手

一行と歸校

杉浦選手一行と歸校。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

町金庫のお蔭で 徴稅事務捗どる

昨年二倍の好成績

町金庫のお蔭で徴稅事務捗どる。昨年二倍の好成績。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

民有林間伐指導

相談所の趣旨漸く普及

民有林間伐指導。相談所の趣旨漸く普及。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

營林署野球

勝利の旗を掲げ

營林署野球。勝利の旗を掲げ。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

漂流三日目に 萬盛丸救助せらる

漁獲の鯉一萬三千本も無事

漂流三日目に萬盛丸救助せらる。漁獲の鯉一萬三千本も無事。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

除草中の農婦 日射病で卒倒

手當効無く一時間後に死亡

除草中の農婦日射病で卒倒。手當効無く一時間後に死亡。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

除害中の農婦 日射病で卒倒

手當効無く一時間後に死亡

除害中の農婦日射病で卒倒。手當効無く一時間後に死亡。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

優秀な成績

磐中軍の活躍

優秀な成績。磐中軍の活躍。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

トマト栽培奨励

収益上確信を得て

トマト栽培奨励。収益上確信を得て。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

華嚴の巖頭から 男内女の飛込心中

晴れて添へぬを悲観

華嚴の巖頭から男内女の飛込心中。晴れて添へぬを悲観。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

平局扱ひ

幽霊郵便

平局扱ひ。幽霊郵便。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

除害中の農婦 日射病で卒倒

手當効無く一時間後に死亡

除害中の農婦日射病で卒倒。手當効無く一時間後に死亡。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

優秀な成績

磐中軍の活躍

優秀な成績。磐中軍の活躍。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

除害中の農婦 日射病で卒倒

手當効無く一時間後に死亡

除害中の農婦日射病で卒倒。手當効無く一時間後に死亡。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

優秀な成績

磐中軍の活躍

優秀な成績。磐中軍の活躍。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

波路を越えて松平晃

東 京 祭 霞町二三吉

波路を越えて松平晃。東 京 祭 霞町二三吉。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

波路を越えて松平晃

東 京 祭 霞町二三吉

波路を越えて松平晃。東 京 祭 霞町二三吉。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

波路を越えて松平晃

東 京 祭 霞町二三吉

波路を越えて松平晃。東 京 祭 霞町二三吉。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

波路を越えて松平晃

東 京 祭 霞町二三吉

波路を越えて松平晃。東 京 祭 霞町二三吉。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

波路を越えて松平晃

東 京 祭 霞町二三吉

波路を越えて松平晃。東 京 祭 霞町二三吉。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

波路を越えて松平晃

東 京 祭 霞町二三吉

波路を越えて松平晃。東 京 祭 霞町二三吉。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

波路を越えて松平晃

東 京 祭 霞町二三吉

波路を越えて松平晃。東 京 祭 霞町二三吉。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

波路を越えて松平晃

東 京 祭 霞町二三吉

波路を越えて松平晃。東 京 祭 霞町二三吉。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

波路を越えて松平晃

東 京 祭 霞町二三吉

波路を越えて松平晃。東 京 祭 霞町二三吉。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

波路を越えて松平晃

東 京 祭 霞町二三吉

波路を越えて松平晃。東 京 祭 霞町二三吉。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

波路を越えて松平晃

東 京 祭 霞町二三吉

波路を越えて松平晃。東 京 祭 霞町二三吉。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

波路を越えて松平晃

東 京 祭 霞町二三吉

波路を越えて松平晃。東 京 祭 霞町二三吉。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

波路を越えて松平晃

東 京 祭 霞町二三吉

波路を越えて松平晃。東 京 祭 霞町二三吉。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。

波路を越えて松平晃

東 京 祭 霞町二三吉

波路を越えて松平晃。東 京 祭 霞町二三吉。磐中軍の優勢に刻々快情報は飛ぶ。平局の通話数依然増加。